

第十三回 一般職の職員の給与に関する法律の一部を改正する法律案両院協議会会議録第一号

昭和二十七年五月二十九日(木曜日)午後三時十二分開会
昭和二十七年五月二十七日衆議院議長
において協議委員を左の通り指名した。

洲上房太郎君
水田三喜男君
村上勇君

願いいたします。なお衆議院の両院協議会議長には倉石忠雄君、副議長には西村久之君。参議院の両院協議会の委員長が私、副議長には館哲二君が

う視点から再検討をいたしておりました。ところが、参議院におかれましてはこの法案を審議なさいます日数が非常に足りなかつた關係もございましよう

ますと、今度の三百二十二カ所に亘る改正についても大よその所要経費は約七億四千万ぐらいに上ると言われておるのでありまするが、その裏付がな

副議長 倉石 忠雄君
西村 久之君
加藤 武徳君 草葉 隆圓君
宮田 寛文君 小野 哲君
館 哲二君 溝口 三郎君
木下 源吾君 カニエ 邦彦君
油井賢太郎君 紅露 みつ君
同日互選の結果、正副議長を左の通り指名した。
選定した。

委員外出席者	紅露
政府委員	人づ君
内閣官房長官	保利 茂君
參議院事務局側	法制定局長 入江 俊郎君
參事(委員部長)	鈴木 隆夫君
衆議院法制局側	宮坂 完孝君
參議院法制局側	三

委員並びに協議会の事務を執りまする職員以外の御退席を願いたいのであります。
先ず一般職の職員の給与に関する法律の一部を改正する法律案につきまして、各議院における審決の趣旨について御説明を願いましてから協議に入りたいと思いますが、御異議ありませんか。
〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

はないが、従つてそれの資料といふ点におきましても或いは十分でなかつたかと拝察いたしております。そういう関係でございましようが、全国的に見まして或る都市が上り、或る都市がそのままにされているといふような点で、少し言葉を強めて書いますならば不均衡が起つてゐるようにも思えます。又一方或る点に相当熱心に御審査になつた結果修正されておりますために、多大の渠が隣接渠との均衡という

しましたときにも、政府は、これ以上
の予算は到底できないという話で、止
むを得ず政府原案を承認したような次
第であります。そういう点から見まし
ても、今度の修正に要します所要経費
七億四千万円について、まだ予算の裏
付ができるいないといふうに聞いて
おります。そういうふうに不均衡と思
われる箇所が相当にあると思います。
原案に更に七億四千万円也要する、そ
の予算が裏付されていないという二つ

出席委員 葉篠院則	議長 副議長 館哲二君	法制局長 奥野健一君
		○ 本日の会議に付した事件 一般職の職員の給与に関する法律の 一部を改正する法律案

○田中不破三君 それでは私から簡単にその経過並びに考え方について御報告を申上げたいと思ひます。

るよう在我には考えられます。そういうふうに非常に御熱心に御審議になつたことは存じますが、相当部分について残さが見ますると不自然の点があ

の主な理由で、これはやはり政府原案がよろしいという考え方になるとまりまして、誠にお気の毒ではございましたが、参議院の御修正に応じるわけに行かないかとよろしく次第申らります。以

副議長
議長
倉石 忠雄君
西村 久之君
岡西 明貞君
福永 健司君
田中不破三君
田中伊三次君
藤枝 泉介君
○議長(草薙謹園老) それではこれから開会いたします。
實は抽籤によりまして本日協議会の議長を不肖私が務めます。よろしくお

なりました案につきまして衆議院において審議いたしましたが、勿論衆議院とされましても皆さんが一致で修正になりましたことになりますから、この趣旨は勿論十分に我々としては尊重しなければならんという立場でできるだけの考慮は払わなければならんとい

るようになります。又一方これを
を賄います予算の面から見ますと、
政府側との御折衝がどういうふうに進
んでおりましたかは存じませんけれど
も、速記録その他を拝見して見ます
と、十分な御折衝ができていなかつた
のではないか。又政府当局に聞いて見

○議長(草薙謙蔵君) 次に參議院側から御説明をさして頂きたいと思います。

○カニエ邦彦君 それでは私から、只今問題になつておりまする一般職の給与に関する法律の一部を改正する法律

案について、参議院におきまして修正の成立の経過について大要を御説明を申上げます。この法律案は、去る二月二十七日に内閣に提出せられまして参ったわけであります。が、参議院の人事委員会といたしましては地域給については一昨年の給与改訂以来、引続いて研究調査を続けて参つたのであります。が、そして又かねてから全国各地よりいろいろ熱心な要望等がございまして、人事院の今回の追加勧告を含む本法律案についても、なお不十分とする地方の要望が殺到いたしておりますことは、すでに衆議院のほうにおかれましても御承知の通りだらうと思ひます。そこで委員会といたしましては、問題の重要性に鑑みまして、直ちに慎重な審議にかかるたのでござりますが、この間本法律案及び、これが及ぼす影響が、単に国家公務員にとどまらず、広く政府関係機関職員及び地方の公務員等に及ぼす実情に鑑みまして、関係政府委員又は参考人等の説明を求め、意見の聴取をいたし、審議の遺憾なきを実は期して参つたのであります。が、たま／＼二月の二十日の人事委員会におきまして、与党の自由党の諸君からも今日まで国会に対する多数の請願が提出されており、その内容にもいざれも尤もな点が認められますので、これらについて各党派の意見を取りまとめて、そらしてその調整を図り、そのまとまつたものを修正案として議題に供したいとの提案がなされまして、委員会といたしましても、本法律案については、なお慎重な検討を加え、所要の修正を行ふ必要があるとの全会一致の結論に達しましたので、直ちに修正案の検討に着手いたした次第でござ

さいます。そうしてその検討の結果、委員会の修正案原案として次の三つの案に落ち着いたのでござります。

即ち、その一つは、仮にこれを第一案と呼んでおりますが、その案は昭和二十三年の十二月に勤務地手当の制度が人事院の所管として大蔵省から移管されまして以来、これに対する各地の要望が甚しいために、それらの要望を考慮して、人事院の勧告とは別に、各都道府県の支給率側でまとめられた意見を、これを全国的に二年間に亘りまして、それらの資料によりまして整備をして来たものがある。この第一案は政府原案につきまして、更に年間約二十一億円程度の経費の増額を要するものであります。

次に第二案と申しますものは、最近の経済情勢の推移と、生計費の実態に鑑みまして、現行の地域給を漸次これをなくして行くという基本的な考え方を基きまして、現行の未支給地域全部を一律に一級地として指定しようとするとものでありますて、この第二案によりますと、政府原案に対しましてなお約十億の経費の増加を要するものであります。

次にこの第三案についてでございますが、人事委員会といたしましては、再三懇談会を開きましたて、大蔵省、人事院、地方財政委員会等、関係政府委員の皆さん並びに内閣官房副長官等の説明を聴取いたしまして、予算上政府の苦慮する点を考慮いたしまして、できる限りの経費の増加を少くするといふ立場から再推薦を加え、修正部分を最小限度にとどめて決定いたしましたのが、いわゆるこの第三案であるのでござります。この第三案の決定に当たりま

して、その審議の材料として取上げました範囲は、前に申上げました第一案をもその資料として取上げているのであります。が、期日も切迫して参り、又特別C.P.S.のことき全国的の尺度もございませんので、止むを得ず今国会において受理いたしました請願及び陳料をいたしまして検討を加えたものでございます。従つてその本修正案が必ずしも万全を期したものと云いがたい点もありましようけれども、併しその勤務地手当に対する抜本的な改正は全面的な給与ベース改訂の機会に待つことにいたしまして、今回の修正は取りあえず、從来からあつた地域間の不均衡の可及的減少を図るにとどめた実はなく、今後とも引続いてその合理化のための努力を怠つてはならないという見解に立つてゐるものでございます。このことは去る本会議における人事委員長の報告としても申上げたところですが、かくて本法律案は御承認のごとく、この五月の六日に參議院人事委員会及び參議院本会議におきまして、全会一致を以て修正議決するところまでに至つた次第でございます。

大体非常に簡単でございますが、參議院といいたしましては、かような経過をして、実は修正になつた次第でござります。以上御説明申上げました。

○委員長(草葉蔭雲君) 以上で両院の御説明を終りましたが、いろいろ御質疑もあるうかと存じますが、懇談申上げたらどうかと思ひますが、御異議はございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕
○委員長(草薙謙蔵君) それでは懇談会に移ることにします。速記を止めます。
午後三時二十八分懇談会に移る
午後五時三十九分懇談会を終る
○議長(草薙謙蔵君) それでは休憩前に開会いたします。懇談会におきまして、いろいろ御懇談を願いまして、政府の出席を求めて、今回の衆議院並びに参議院の議決に対する地政給の問題について、政府の所信を伺いたいといふことでござりまするから、官房長官の出席を求めまして、この点について、政府の所信を承ることにいたします。

○政府委員(保利茂君) 只今議長からお尋ねの点につきまして、政府の考え方を明らかにいたしたいと存じます。勤務地手当の支給地域区分に関する事務院の修正につきましては、先に入り事務院勧告により政府が提案いたしましたものにつきましても、予算的には相当の苦慮をいたしております次第でございまして、この際本修正案を審査いたしますことは極めて困難でござります。従いまして政府は今後速かに検討いたします。従いまして政府は今後速かに検討する考えでございますから、この際公務員の待遇をいたしまして、その内容におきましても人事院と十分連絡いたし、勤務地手当合理化の見地から慎重に検討する考え方でありますから、この際公務員の待遇をいたしましたいと存じますが、御異議はございません

○議長(草薙龍蔵君) それでは本日の協議会は以上を以ちまして終了いたします。
〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕
午後五時四十三分散会